

船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	37 件
2	船舶インシデント	計	13 件
		合 計	50 件

平成23年12月16日

運 輸 安 全 委 員 会

船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

（仙台事務所）

- 1 貨物船誠栄丸漁船第五大宝丸衝突
- 2 漁船第一金栄丸運航不能（機関損傷）
- 3 水上オートバイドルフィン運航不能（機関損傷）
- 4 水上オートバイ（船名なし）運航不能（機関損傷）
- 5 モーターボートKOHBI NYOU 運航不能（機関損傷）
- 6 漁船第七十八大師丸漁船第十三洋盛丸衝突
- 7 貨物船第八厚栄丸衝突（岸壁）
- 8 引船第十六咲丸運航阻害
- 9 漁船第二十八寶生丸漁船広洋丸衝突

（横浜事務所）

- 10 漁船ブラックエンゼルいそじ乗揚
- 11 旅客船大江戸丸旅客船モーリンⅡ衝突
- 12 漁船安市丸運航阻害
- 13 セメント運搬船第二十三芝浦丸乗揚
- 14 貨物船 HONG XIN 2 衝突（岸壁）
- 15 貨客船さるびあ丸衝突（岸壁）
- 16 モーターボートマリンSRV座洲
- 17 ケミカルタンカーSPRING AUSTER 乗組員負傷
- 18 漁業指導船ふさなみ乗揚
- 19 水上オートバイニゴ丸水上オートバイあづさⅡ衝突

- 20 モーターボート安誠丸運航阻害
- 21 練習船機動船1号乗揚（定置網）
- 22 モーターボート KAZUTO-Jr. 乗揚（定置網）
- 23 貨物船新君丸衝突（橋脚）
- 24 水上オートバイ龍漁船栄勝丸衝突
- 25 ミニボート（船名なし）乗揚
- 26 遊漁船孫吉丸モーターボートタヒチⅡ衝突

（神戸事務所）

- 27 旅客フェリーやまと漁船金照丸漁船第八金照丸漁網損傷
- 28 貨物船 LIDA 漁船第七十八大洋丸衝突
- 29 油タンカー第六藤洋丸乗揚
- 30 砂利採取運搬船第六幸徳丸乗揚
- 31 砂利石材等運搬船第拾八明德丸乗揚
- 32 貨物船第一摂津丸運航不能（主機逆転減速機損傷）
- 33 漁船長光丸衝突（岸壁）
- 34 モーターボートSUBARU star ship 運航不能（燃料供給障害）
- 35 モーターボートJACKⅡモーターボートSANTA衝突
- 36 漁船ニューあさかぜゴムボート（船名なし）衝突

（広島事務所）

- 37 貨物船第十八神山丸乗揚

※下線付き番号はインシデント

- 38 引船なぎさはしけひうち乗揚
- 39 貨物船長悦丸乗揚
- 40 モーターボート千漁丸乗揚
- 41 ヨットM a r i n e乗揚
- 42 貨物船第六勢福丸衝突（かき筏）
- 43 貨物船G L O B A L T O P 5漁
船千晶丸衝突
- 44 引船第五十俊栄丸台船D 1 0 2号
乗揚

（門司事務所）

- 45 プレジャーモーターボートマリン
セーバー運航不能（機関損傷）
- 46 引船海星1 0 1号乗揚
- 47 プレジャーボート雅冴王Ⅱ運航不
能（機関損傷）

（長崎事務所）

- 48 砂利運搬船富士岩丸乗揚
- 49 漁船第八隆洋丸運航不能（主機ク
ラッチ損傷）
- 50 旅客船エアポートライナー8乗揚

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第113号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成23年8月17日（水） 08時30分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市部埼 ^{へさき} 南東方沖 部埼灯台から真方位122°4,400m付近 （概位 北緯33°56.3′ 東経131°03.8′）	
事故等調査の経過	平成23年8月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ^{まさおう} 雅冴王Ⅱ、5トン未満	
船舶番号、船舶所有者等	280-34385福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	主機直結冷却海水ポンプのインペラが破損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、部埼南東方沖で釣り中、平成23年8月17日08時30分ごろ、船長が、釣り場を移動しようとして主機を始動した際、冷却水の高温警報が点灯して吹鳴したので、直ちに主機を停止した。 船長は、船底の海水吸入口を点検したところ、閉塞していなかったことから、主機直結冷却海水ポンプ（以下「海水ポンプ」という。）のゴム製のインペラが破損したものと判断し、海上保安部に救援を要請した。 本船は、来援した巡視艇にえい航され、北九州市柄杓^{ひしゃく}田漁港に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏	
その他の事項	海水ポンプは、インペラが破損していた。 海水ポンプのインペラは、本船購入時に新替されたのち、約4年間使用されていた。 主機取扱説明書には、海水ポンプのインペラを運転時間1,000時間又は使用期間1年を経過した時点で交換するよう記載されていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、部埼南東方沖で釣り中、釣り場を移動しようとした際、主機の海水ポンプのインペラが破損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能になったものと考えられる。 海水ポンプのインペラは、材質が経年劣化して破損したものと考えられる。

原因	本インシデントは、本船が、部埼南東方沖で釣り中、釣り場を移動しようとした際、海水ポンプのインペラが破損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
----	---